

(様式1)

平成31年度 学校経営計画書

石川県立鶴来高等学校

学校長 垣地正樹

1 教育目標

- (1) 基本的な学力と生活力を身につけ、主体的に学ぶ心と態度の育成
- (2) 健康でたくましい心身の育成
- (3) 郷土を愛し、積極的に社会参加する人材の育成

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 個の能力に適した学習環境を提供するため、習熟度別指導における学習内容の適正化を図っている。
- ② 進学、就職の希望に応じた学習体制、進路指導体制は整備されつつある。
- ③ 地域に貢献し、地域から信頼される学校になるため、地域交流を深めるとともに積極的な広報活動に努めている。
- ④ 「毅然とした指導」と「自信と一体感を持たせる指導」が浸透しつつある。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 社会人としての基礎力を身に付け、社会に責任を果たせる人間の育成
- ② 課題に対して、解決策を考え続けることができる忍耐力のある人間の育成
- ③ 文化・運動活動に積極的に取り組み、豊かな感性を持つ人間の育成

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 学校の教育目標を達成するために、それぞれの役割を果たし、また互いの連携を図りながら、継続性をもって取り組んでいる。
- ② 幅広い教育ニーズに対応するために、常に授業力向上に努めるとともに、組織的な教科指導の体制が構築されている。
- ③ 地域や学校間の連携を強化し、地元で愛され、必要とされる学校づくりを推進し、地域と学校の活性化に貢献できる人材の育成に努めている。
- ④ 教職員の業務の質的転換を図り、限られた時間の中で、生徒に接する時間を十分に確保し、生徒に真に必要な指導を持続的に行うことができている。

3 今年度の重点目標

- (1) 生徒指導の方針・基準に一貫性を持ち、毅然とした指導で、基本的な生活習慣の定着と規範意識の高揚を図る。
- (2) 授業のユニバーサルデザイン化を推進するとともに、家庭学習時間や読書量の増加を図り、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す。
- (3) 教育活動の速やかな情報発信と地域社会と連携したボランティア活動の推進で、地域や保護者から信頼される開かれた学校づくりに努める。
- (4) 教職員自ら、これまでの働き方を見直し、限られた時間の中で、教材研究・授業準備や生徒と向き合う時間を十分に確保できるようにする。